

課題番号3

課題名 【重点課題2】新規就農者・企業の確保育成 いちごアカデミーと栽培・販売支援を通じた新規就農者の確保・育成		
対象: いちごの新規就農希望者・新規就農者	計画期間 R4～R8	
	事務所名 南河内農と緑の総合事務所	
普及課題	活動方法	活動成果
○いちご新規就農者の育成 ○関係機関と連携した農地確保・資金計画作成等、就農に向けた支援 ○新規就農者の販路拡大の支援と販売額増加	○大阪産(もん)スタートアカデミー(いちご・南河内地域)の実施 ○新規就農に向けた関係機関と連携した支援 ○新規就農者のスキルアップ支援 ○いちごの販路拡大支援及びPR	・認定新規就農者数(延べ) 目標:25名(R8) 実績:4名(R4)(いちごアカデミーのみ) 5名(R5見込み)(いちごアカデミーのみ) ・認定新規就農者販売額 目標:9,000万円(R8) 実績:2,550万円(いちごアカデミーのみ)

総合評価 (コメント)
<p>A :1名 B : 4名</p> <p>■農福連携や食育に志を持った就農者に対しては、数字だけではなく質的な評価を行うなど、多様な観点から普及指導を展開することが望まれる。</p> <p>■やっている取り組み自体は非常にすばらしく評価できるのだが、南河内エリアが現状抱えている課題の抽出とそれに対する目標設定が必要であると思う。府内の人口の多いエリアでも人員や人材の確保が困難で、府外で農業成功事例が多数ある地域でも新規就農者の確保というのは非常にハードルが高いので、大阪南部エリアにはもっと高いハードルや課題があるのではないかと推測する。</p> <p>■いちご農家育成の取り組みは産地復活の面でおおむね適切と思うが、発表では、設備投資の大きさと就農を取りやめたケースもあったとのことだった。いちごだけでは市場が飽和する可能性もある。南河内は他の作物の栽培も盛んで、今後は他の作物を取り上げることも要検討かと感じた。</p> <p>■いちご以外でもやってほしい。</p>

評価 A:おおむね適切である。 B:部分的に検討が必要である。 C:見直しが必要である。